うたって学ぶしまくとぅば

～rainとめぐる沖縄のうた～

てぃんさぐぬ花編

年　　組　　番　　氏名

イントロコーナー　『てぃんさぐぬ花』ってどんな歌？

『てぃんさぐぬ花（てぃんさぐぬはな）』は、沖縄で昔から歌い継がれてきた、教訓歌（きょうくんか）・童歌（わらべうた）です。この歌では、親が子どもに大切なことを伝えるために、花や爪を使った"たとえ"で教えを語っています。このワークでは、沖縄の童謡をとおして、しまくとぅばの意味や音を楽しく学んでいきましょう！

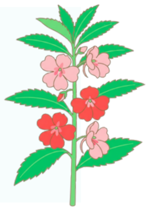
学習の目標

- **うたの内容を知ろう**　：『てぃんさぐぬ花』がどんな場面・どんな願いの歌か知ろう。
- **しまくとぅばにふれよう**：うたに出てくるしまくとぅばの意味や音の感じを知ろう。
- **自分の言葉で伝えよう**　：学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう。

1.うたの内容を知ろう　『てぃんさぐぬ花』ってどんなストーリー？

Q1．「てぃんさぐぬ花」とは、どんな花のことでしょう？

①ヒカンザクラ　②アジサイ　③サンダンカ　④ホウセンカ



Q2．昔、沖縄では「てぃんさぐぬ花」をどのように使っていたでしょうか？

ヒント：歌詞の「てぃんさぐぬ花や　爪先に染すみてぃ」はどういう意味かな？

①お茶にして飲んだ　②爪を染めるのに使った
③かみかざりにした　④においぶくろにした

Q3．この歌では、「花を爪に染める」ことを何にたとえて表現しているでしょう？

ヒント：歌詞の「親ぬゆしぐとぅや　肝に染みり」はどういう意味かな？

①花を大切に育てること　②爪をきれいに手入れすること
③親の教えを心に深く刻むこと　④友達と仲良くすること

令和７年度しまくとぅば普及促進事業費補助金　活用事業（受託者：NO MARK Inc.）

2.しまくとぅばにふれよう　『てぃんさぐぬ花』に出てくるしまくとぅばの意味は？

Q１．『てぃんさぐぬ花』の歌詞をたのしみながら、声に出して歌ってみよう。

【歌詞（しまくとぅば）】

てぃんさぐぬ花(はな)や　爪先(ちみさち)に染(す)みてぃ
親(うや)ぬゆしぐとぅや　肝(ちむ)に染(す)みり
天(てぃん)ぬ群(む)り星(ぶし)や　読(ゆ)みば読(ゆ)まりしが
親(うや)ぬゆしぐとぅや　読(ゆ)みやならぬ
夜走(ゆるは)らす船(ふに)や　子(に)ぬ方星(ふぁぶし)見当(みあ)てぃ
我(わ)ぬ生(な)ちぇる親(うや)や　我(わ)ぬどぅ見当(みあ)てぃ
宝玉(たからだま)やてぃん　磨(みが)かにば錆(さび)す
朝夕(あさゆ)肝磨(ちむみが)ち　浮世渡(うちゆわた)ら
誠(まくとぅ)する人(ひとぅ)や　後や何時(いち)迄(までぃ)ん
思事(うむくとぅ)ん叶(かな)てぃ　千代(ちゆ)ぬ栄(さか)い
なしば何事(なんぐとぅ)ん　なゆる事(くとぅ)やしが
なさぬ故(ゆい)からどぅ　ならぬ定(さだ)み

【現代語訳】

ホウセンカの花は　爪先に染めて
親の言うことは　心に染めなさい
天上に群れる星は　数えれば数えきれても
親の言うことは　数えきれないものだ
夜の海を往く船は　北極星を目当てにする
私を生んだ親は　私の目当て（手本）だ
宝石でも　磨かなければ錆びてしまう
朝晩心を磨いて　日々を生きて行こう
正直な人は　後々いつまでも
願いごとが叶えられ　永遠に栄えるだろう
何事も為せば　成るものではあるが
為さぬことは　いつまでも成らない

3.自分の言葉で伝えよう　学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう！

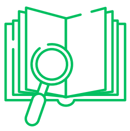
Q１．歌詞の中で、あなたが一番心に残った言葉はどれですか？その理由も書いてみよう。

言葉に残った言葉（しまくとぅば）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q２．「てぃんさぐぬ花」を、まだ知らない人に紹介するなら、どう紹介しますか？

もっと調べてみよう！



- 沖縄には、他にどんな教訓歌（親から子への歌）があるかな？
- 「てぃんさぐぬ花」は、どんな場面で歌われてきたか調べてみよう！
- 自分の地域にも、昔から伝わる"教えの歌"があるか探してみよう！

令和７年度しまくとぅば普及促進事業費補助金　活用事業（受託者：NO MARK Inc.）